

# ATTUNITY'S INTEGRATION SOLUTION FOR LLOYD'S Customer Case Study

## 大手保険業界のメインフレーム統合

### LLOYD'S

#### Lloyd's of Londonとは…

Lloyd's of Londonは、国際保険業者協会(IUA)とXchanging Ltdとの合併儀業を形成してきました。その結果XchangingのIns-Sure Servicesは1500万を超える電子商取引を、1年間では35万以上もの保険金請求を取り扱うようになり、国際的規制機関への適合を果たしました。

#### 目指したゴール

二つの既存CICS処理システムの統合と、より高効率で一貫性のある顧客サービスを低コストで実現する為のウェブサービスの構築

AttunityのCICSアダプタは、XchangingのIns-Sureサービスに関する統合プロジェクトを簡素化しました。Xchanging Ltd.はLloyd's of Londonと国際保険業者協会(IUA)との合併会社です。このインテグレーションな戦略と技術による選択は、Lloyd's社の迅速さや機敏さ、及び保険金請求処理への迅速な対応性をもたらすに至りました。

Lloyd'sロンドン、世界の主要保険市場であり、商業保険会社の中で2番目に、再保険会社では6番目に大きな企業です。IUAは、保険または再保険企業における世界最大規模の代表的組織です。この二つの大手組織が保険業界のアウトソースサービスを提供するXchanging社と統合し、ロンドンの保険業界の躍進へととなりました。

この統合を成功させる為に、ビジネスオペレーション及びシステム統合の両方に関して、Xchanging社はLloyd's社とIUAの保険金請求及び保険料システム間の非互換性を解決せねばなりませんでした。重要なポイントとして、システムの1つに、すぐにサポートされなくなるであろうハードウェアプラットフォームがあるといったような潜在的な問題を避けねばなりませんでした。ビジネスゴールは、バックオフィスの保険金請求及び保険料処理の調整、一貫したオペレーション処理に対する認識、ITリソースの効率的な共有、コストの低下と品質の向上、など切実なものでした。

Attunityは、保険金請求システム統合における成功の多くの理由の一つであり、これまでのロンドン市場における最大規模のプロジェクトとなりました。この統合の結果、Xchanging社はただ1つの保険金請求及び保険料システムをロンドン市場全体へ提供するに至ることとなったのです。

#### チームの努力

Xchanging社のプロジェクトは既存リソースを最大限に利用しました。スタッフはLloyd'sの保険金請求システムユーザと相談し、要件をつめていきました。それだけではなく、Attunityや22にも及ぶ他のソフトウェアハウスやエンドユーザとの協業へと課題は広がるばかりでした。このプロジェクトの成功は、統合プロジェクト全体のハードワークと熱心さによるものでした。

第一ステップとして、COSS(Claims Office Support System:Xchanging社によって使用されていたレガシーなLloyd'sの電子保険金請求システム)とCLASS(Claims Loss Advice and Settlement System)をリプレイスすることでした。Xchanging社は機能的にリッチな既存ソフトウェアと重要な社内の専門技術を活用しながら、企業の保険金データの統合メソッドに着手しました。

これを成し遂げるために、プロジェクトチームはJavaとHTMLベースのフロントエンド(J2EEベースのアプリケーションサーバ)をCICSを使った検証及び処理エンジン上に配置することにしました。この決定は、J2EEと、1つのシステムとともう片方のメインフレーム上のウェブクライアント間の通信を構築する方法の模索へとつながりました。

Sterialは統合に尽力し、Java/HTMLレイヤを構築しましたが、選択されたオリジナルのレガシーアダプタでは、ほとんど成果が上げることができませんでした。

## ソリューション

Attunity ConnectはJ2EEアプリケーションサーバとCICSベースの保険金請求処理エンジン間における標準的且つ双方向の統合を実現します。これにより、統合チームはJ2CAやJDBCなどの標準的な技術を活用し、即時生産性を高めることができました。今やXchanging社はアダプタまたはフロントエンドの改修にかかる高コストなしでトランザクションの追加や微調整が可能となりました。

## 利点

- ・メインフレームに関する社内の専門的技術と既存リソースの活用
- ・プラットフォームやソフトウェア、サービス契約やオペレーションの複製コストの削減
- ・人員追加をせずに、ビジネス処理能力の向上を実現
- ・新規ソリューションの製品化にかかる時間の短縮

オリジナルアダプタは全てのCICSトランザクションに対し拡張性が低く、保持プロセスの開発を余儀なくされました。Xchangingは、グローバルなITサービス提供社であるSteriaに統合プロジェクト支援と、Java/HTMLレイヤの開発をまかせました。このレガシーアダプタに関する問題点解決の検討の末、SteriaはAttunity Connectを推薦しました。

XchangingのプログラムマネージャであるStuart Allan氏は次のように述べています。「Attunityは素晴らしい製品でした。Attunityを導入してから稼働させるまでに一日もかからずにすみまし、CICSトランザクションに対して我々は何も手を施さなくてよかったです。Attunityの導入はまさに大成功と言えました。」

Attunityの導入後、システム統合プロジェクトはクリティカルな問題なく稼働しました。処理は、全てCOSSベースのオープンな保険金請求データへと変換されました。テスト及び導入フェーズにおいても、既存CLASSユーザはダウンタイムにも重大なビジネス分断にも遭うことはありませんでした。

## スピード

当初から、Attunityはフロント/バックエンドシステム間のシンプルな接続により、高速な導入を実現させました。このまさに標準的ともいえるAttunityソリューションは、Oracle9iアプリケーションサーバとCICSベースの保険金請求処理エンジンを統合し、ユーザがウェブインターフェイスから取引できるようにしました。更に、Attunityは長くなりがちな保険金決議のサイクルをXchangingが短期間で行えるようにしました。Allan氏はまた次のように述べています。

「まさに保険金請求処理はとはとても複雑なものなのです。保険金請求が米国またはカナダの規制に敷かれた際、更に複雑になり過去において、保険金請求処理者は、大量の紙の中から正しいコードを探しあてる作業を行っていました。間違ったコードは、保険業者や仲介業者、査定人、我々の技術者に対し、分類に関する長い時間を要することになっていたわけですが。今や我々はドロップダウンボックスなどを使用したjavaレベルでの入力を利用しています。」

AttunityはJavaフロントエンドを通して、メインフレームのコードに関するデータベースへの透過的アクセスを実現します。

## 節約

古いプラットフォームの継続的サポートの必要性を排除することで企業のコストを削減することができます。しかしながら、それは決して主要なビジネス推進力ではなく、さらなる利益を産み出したのです。Xchangingは、完全に柔軟に、技術者を配置することができる、と予測していたのです。つまり最も必要とされる時や場所に、適切な人的リソースを配置することができるようになる、ということです。

「データエントリをより直観的でユーザフレンドリーなものにすることにより、我々はスループットを向上させることができます。この場合のスループットとは、人手リソースの配置に対する柔軟性を意味しています。」

“データエントリをより直観的でユーザフレンドリーなものにすることにより、我々はスループットを向上させることができます。この場合のスループットとは、人手リソースの配置に対する柔軟性を意味しています。これはまた追加人員なしに、新規ビジネスを立ち上げることができるような我々のキャパシティを向上させることでしょう。”

**Stuart Allan**  
**Convergence**  
**Program Manager**

#### ■お問合せ先

株式会社

ハイ・アベイラビリティ・システムズ

ソリューション&

コンサルティング事業部

〒108-0023

東京都港区芝浦4-13-23

MS芝浦ビル

Tel 03-5730-8870

Fax 03-5730-8619

[inquiry\\_desk@ha-sys.co.jp](mailto:inquiry_desk@ha-sys.co.jp)

<http://sc.ha-sys.co.jp>



これはまた追加人員なしに、新規ビジネスを立ち上げることができるような我々のキャパシティを向上させることでしょう。」Allan氏はこのようにも述べています。

#### 敏しろう性

Attunity Connectにより、Allanのチームは、最初はプロセス、次にデータ、といった段階的なオペレーションでの転送をせずにシステムの統合を迅速に実現することができました。Attunityはネイティブアダプタ装備の充実性を誇っているからです。XchangingはCICSTランザクシオンを使用し続けるか、もしくはDB2データ自体に直接接続するののかについて、いつでもどんな組み合わせでも選択することができます。

「新規ランザクシオンの導入はかなりシンプルと言えるのでチームはあらゆる方向へ保険金請求システムを拡張することができるのです。というのもAttunityが正しい場所へ正しいデータを転送してくれるからです。」

Xchangingは、また、レガシートランザクシオンを標準的且つ再利用可能なサービスとして生まれ変わらせることができるAttunity Connectのウェブサービスサポートに着目していました。高い柔軟性且つ標準的な統合ミドルウェアを使用することによって、Xchangingはビジネス能力を高めることができるでしょう。結果として、Lloyd'sの投資家や保険業者はローリスクでハイリターンを得ることができるようになるでしょう。そして保険業者や管理エージェント、エージェントメンバーたちはサービスの促進及び拡張、スピーディーな保険金支払い請求の解決を高く評価することでしょう。

#### 統合の未来

XchangingはLloyd'sに対し保険料取扱システムに対し同じ戦略を使うことを計画しており、IUAや企業はAttunity Connectがまた同じ結果をもたらしてくれるに違いないと期待しています。

Allanによれば、「我々はAttunityがまさしく的を得た製品だと確認しました。容易な使用性ととも、内部ビジネス処理を柔軟な商業サービスへ変換せねばならない高品質のデータをもたらしてくれます。」

Xchangingはロンドン市場システムの統合は、サービスの拡張と改善の機会を示したのだと認識しました。組織はこれらの利益を実現するための最大限の範囲の技術を適用しています。組織はこれらの利益を実現するため、Attunityの持つ最大限の範囲の技術を適用しています。